



子どもたちにはスポーツや音楽を通じた人間形成がとても大切だと思います。

対話者
原田 和巳さん



札幌国際大学の学生としてボランティアに参加する中で、子育てをする母親同士の情報交換の機会が少ないように感じました。交流を深められる場があればと思います。

対話者
賀山 拓人さん

団体の一員としてスポーツや音楽に取り組むことは、心を豊かにする上でとても大切なこと。清田区は住民の年齢層が若いこともあり、合唱や吹奏楽など音楽教育の水準がとても高いですね。

子育ての先輩に相談したり仲間をつくる場として、市内には子育てサロンが約300カ所設けられています。



上田市長

障がいのあるお子さんについては、将来親が年を取った時の心配があると思います。障がい者に対する社会の認識を深めてもらえれば、雇用などにもつながるのではないのでしょうか。

若井さん

障がいのあるお子さんについては、早目の診断が大切。札幌市では3歳までに4回の乳幼児健診を実施しています。人は人の中で育つもので、人の中に入っていきことで社会適応能力も向上します。雇用や将来的な保護・支援体制など課題はありますが、障がいがあってもなくても暮らし慣れたまちで健やかに生活していけることが札幌市の目標です。

渡部 前副市長